



卒業式を挙りました

3月1日に第40回卒業式を挙りました。暖かい春の日差しの中、269名が高校生活3年間の思い出を胸に、それぞれの目標に向かって学び舎を巣立っていきました。卒業生の未来が輝かしいものであるよう祈っております。



卒業生答辞

小関 嵩士(三年・玉浦中出身)

厳しい冬が過ぎ、校庭の桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じる今日この頃、私たち二六九名は卒業の日を迎えました。私たちのためにこのような華やかな場を用意してくださいまして、ありがとうございます。お忙しい中ご臨席賜りました、御来賓の父母教師会会長 土屋様、並びに保護者の皆様にご心より御礼申し上げます。



春が近づくにつれ、自然と卒業を意識するようになり、様々なことが思い出されてきました。三年前、私たちは新しい制服に身を包み、緊張しつつも期待を胸に入学の日を迎えました。入学式当日、緊張のあまりブレザーを家に忘れてしまいました。入学式当日、緊張のあまりは良い思い出です。思い返すと、その頃から親や先生方、先輩や友達にも何度も救われてきました。そうやって、多くの人に支えられて充実した学校生活を送ることができたのだと実感します。



入学当初はクラスメイトとどのような話をすればよいのか分からず、みんなと仲良く出来るのか、みんなと仲良く出来るのか、不安でいっぱいでした。しかし、一ヶ月もすると、近くの席の人と話すようになり、友達の輪が広がっていきました。そのときの友達とは、進級してからも何度も相談に乗ってもらった。互いに助け合ってきました。彼らは私の高校生活で得た、もっとも大切な仲間です。進路達成に向かって同じ志を持ち、一致団結して共に勉強してきた彼らは、私にとつて心の拠り所でした。一緒に進路室まで行ったり、放課後まで一緒に勉強したり、そんな些細なことですが、受験勉強を頑張ることが出来ました。クラスに私を受け入れて話し合える友達が居ることは、私にとつて学校に行く理由の一つになりました。彼らのおかげで私は学校へ行きたくないと考えたことがなく、友達に会いに行っているという感覚で学校へ来ていました。卒業後も共にふざけ合い、励まし合い、助け合う仲間でありたいと思っております。三年間ありがとうございました。

そんな温かく元気な北高生は、地域でも大きな役割を担っていることを、部活動を通して気づきました。奉仕活動部として植樹祭に参加し、そんな温かく元気な北高生は、奉仕活動部以外の生徒や地域の方々と共に活動したときは、初めての参加にもかかわらず、「いいもありがとう」と、地域の方が声をかけてくださいました。そのとき、名取北高校は、地域と連携した活動を大切にし続けてきた学校なのだと実感し、自分として地域貢献活動に参加できたことを私は誇らしく思いました。

生徒会活動を通して、先輩から多くのことを学びました。生徒会役員として活動し始めた頃、右も左も分からない私に、先輩たちが優しく何をすれば良いか教えてくれました。生徒総会や学校行事の準備のために遅くまで生徒会室に残っていたときも、先輩が積極的に声をかけてくれ、生徒会室の雰囲気や良くしてくれました。また、先輩からは、全校生徒の期待に応えられるよう、責任感を持って活動することなど、生徒会活動だけでなく、今後の人生全体において大切になることも学びました。先輩は今でも私の憧れです。少しでも自分が先輩に近づけていたら嬉しいです。後輩の皆さんにも、生徒の代表だという自覚と責任を持ち、生徒にとつて過ごしやすい学校を作り続けていってほしいと願っています。

楽しい学校生活に、より深い意味を与えてくれたのは、いつも傍に寄り添ってくれた教職員の先生方です。先生方の授業はわかりやすく、工夫されており、本当に好きな分野について教えているのだと感じる熱量がありました。三年生になり本格的に進路達成のための勉強を始めるまでは、興味深い話をただ聞いている感覚で、勉強嫌いだった私でも勉強を楽しいと思えるのだと気づきました。体育祭などのイベントでは、先生も一緒になって盛り上がり、生徒同士の仲が深まるだけでなく、私たち生徒と先生方の距離も縮まりました。進路関係では進路達成のために多くの先生からアドバイスをもらいました。もともと先生と話すことが苦手な私も、北高の先生方とは気軽に話すことが出来ました。先生方のおかげでこれからは道も踏み外さず自信を持って夢に向かっていくことが出来ます。三年間、多くのご心配やご迷惑をおかけしました。これからも後輩たちを正しく導いてあげてください。そして何よりお体にお気を付けください。本当にお世話になりました。





そして一八年間という長い年月、見返りを求めず、ただただ愛情だけで育ててくれたお父さんお母さん。毎日お弁当を作ってくれたり、荒れた天気の日には送り迎えをしてくれたり、本当に支えられてきました。照れくさくてあまり感謝の言葉を伝えることがありませんでしたが、本当に感謝しています。私も家族を支えられるように頑張ります。一八年間ありがとうございました。そしてこれからも一番近くで見守っていて下さい。

最後に、私たちの高校生活を支えてくださったすべての方々に卒業生一同心より御礼申しあげます。名取北高校での経験は私たちにとって大きな財産です。名取北高校の卒業生であることを誇りに思います。進路先において北高で学んだことを最大限に生かして、地域の発展に貢献することで、名取北高校、お世話になった先生方、地域の方々への恩返しをしたいと思います。先生方のご健康と、名取北高校のさらなる発展を祈念し、卒業の辞といたします。

在校生送辞

渡辺大翔 (二年・山田中出身)

風薫る三月希望に胸を膨らませて本日卒業される二六九名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

皆様は今三年間の高校生活をどのように思い返しているのでしょうか。月日はあつという間に過ぎていくもので、皆様がこの名取北高校の門を初めてくぐられた日から三年が経とうとしています。二六九名の卒業生の皆様一人一人が三年間を通して大切な仲間達と共に一生の思い出を作り上げてきたことと思います。

本年度は新型コロナウイルスの影響で、高総体の中止、北高祭の中止、体育祭の形を変えての実施など、我慢を強いられた場面が何度もあったかと思えます。しかし、その中でできることを探し、実践してきた先輩方の姿は私たちが在校生の誇りです。そして私たちが在校生を正しい方向へ導き常に気遣ってくれた先輩方は私たちの憧れであり目標です。そんな先輩方との別れは辛く、先輩方の築かれたこの名取北高校の部活動や生徒会活動をはじめとする素晴らしい伝統を引き継いでいくことに対して今は不安も感じています。しかし必ず私たちは先輩方の築かれた名取北高校の伝統を守り受け継いでそしてさらに発展させていきます。



これから皆様はそれぞれの夢に向かって歩みを進めていくことと思えます。その中で壁にぶつかることが幾度となくあるでしょう。そんな時、この名取北高校での最高の仲間と共に培った協調性や数多くの経験が必ず壁を越える力になります。新たな時代の先頭に立ち、名取北高の卒業生としての自覚と誇りを持って未来を切り開いていってください。そしてまたいつまでもこの名取北高校にいらしてください。卒業後さらに成長され活躍なさっている皆様に会える日を心待ちにしております。

名残惜しいですがお別れの時がきました。卒業生の皆様のご健康と益々のご活躍を在校生一同心よりお祈り申し上げます。送辞と致します。



今後の日程について

- 3月29日(月) 離任式。新クラス発表。
1年生教科書・副教材購入日
- 4月8日(木) 新任式・始業式・入学式
- 4月9日(金) 身体測定、対面式・部紹介
- 4月12日(月) 進路希望調査(全学年)
- 4月12日・13日 新入生オリエンテーション
- 4月15日(木) 歯科検診(3年)
- 4月16日(金) 部登録、結核検診(1年)
- 4月26日(月) 平日課外I期開始

新型コロナウイルス感染防止対策について

3月18日に宮城県知事と仙台市長による独自の緊急事態宣言が発せられました。生徒のみなさんは、春季休業中も体調管理に努め、不要不急の外出は極力避けるようお願い致します。部活動等への対応について、本日文書を配付いたしました。お読みください。

今年度、本校の教育活動にご協力いただきありがとうございました。新型コロナウイルスへの対応は来年度も続きます。ご協力よろしくお願いたします。